

11 月度理事会議事録（2022 年 11 月 8 日（火）開催）

1. 会長報告（10 月 11 日（火）～11 月 7 日（月）出席案件）

10 月 11 日（火）日本人会・理事会 於：本館

10 月 20 日（木）タイ陶磁器交流展示会(シリントン王女臨席記念式典) 於：バンコク国立博物館

10 月 22 日（土）THAI JAPAN ICONIC MUSIC FEST オープニングセレモニー 於：ICON SIAM

11 月 4 日（金）日本人会・企画推進部会及び三役会 於：オンライン

2. 一般報告（事務局）

（1）10 月度個人会員動向

入会者 98 名 退会者 144 名 現会員数 4,829 名（内、準会員 43 名 会友会員 209 名）

（前年同月 4,871 名・前年同月比 99%）

（2）10 月度賛助会員

〈入会 2 社〉

- ・The Quartier Hotel Sukhumvit 39 Bangkok（ホテル業）
- ・Mediator Co.,Ltd.（リサーチ・コンサルティング・マッチング事業）

〈退会 2 社〉

- ・Apaman Shop (Thailand) Co.,Ltd.（不動産仲介）
- ・Japan Thailand Golf & Wellness Association（日本の一般社団法人）

現会員数 513 社（前年同月 527 社・前年同月比 97.3%）

（3）会員優待店

【新規加盟】

- ・トンローデンタルホスピタル・プナウイティ（歯科医院）
- ・トンローデンタルホスピタル・ラーチャブルック（歯科医院）
- ・トンローデンタルホスピタル・アイコンサイアム（歯科医院）

- ・現在の有効店数 76 店舗

（4）10 月度会館来訪者数

本館：延数 471 名（実数 425 名）

別館：延数 1,837 名（実数 581 名）

合計：延数 2,308 名（実数 1,006 名）

（前年同月 延数 307 名（実数 154 名）前年同月比 751.7%（653.2%）

【昨年度の開館状況】

・2021 年 4 月 26 日（月）～10 月 24 日（日）まで、会議室での同好会・サークル活動を禁止。9 月 2 日（木）より本館・別館ともに窓口業務を一部再開、10 月 1 日（金）より一般図書館を再開、10 月 25 日（月）より会議室の貸出再開。

（5）会館貸出サービス

・10～12 月の法人利用を紹介した。10 月・11 月・12 月は本館・別館ともに入試や企業の会議利用の為にご予約をいただいている。

(6) 寄付・寄贈報告

- ・本の寄贈
吉川五朗様、他1名様より、計50冊寄贈頂いた。

(7) 10月度会計報告

- ・10月度収入は、263万バーツ（前年同月 223万バーツ 前年同月比117.9%）
- ・10月度支出は、180万バーツ（前年同月 164万バーツ 前年同月比110.0%）
- ・単月収支は、83万バーツ（前年同月 60万バーツ 差額 23万バーツ）
- ・累計収支は、260万バーツ（前年同月 -124万バーツ 差額 384万バーツ）

(8) その他報告

- ・11月の主な会議日程と各同好会・部会など主な行事日程を確認した。

3. 共催後援名義・ロゴ使用申請（事務局）

対象事業名：TJRI 主催 日本人駐在員向けセミナー

- ・開催日：2022年11月2日（水） オンライン開催
- ・主催：Mediator Co., Ltd.
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→10月25日にメール審議にて異議なく承認された。

対象事業名：サイアム高島屋 4周年記念イベント

- ・開催日：2022年11月21日（月）～29日（火）
於：アイコンサイアム M階 Charoennakorn Hall（サイアム高島屋）
- ・主催：Siam Takashimaya (Thailand) Co., Ltd.
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力、会員限定ワークショップの実施

→異議なく承認された。

対象事業名：ブラインドディスカバリー事業

- ・開催日：2022年12月4日（日） ※その後3ヶ月に1回程のペースで開催予定
於：日本人会別館
- ・主催：アークどこでも本読み隊
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力、会場提供、人的援助

→異議なく承認された。

対象事業名：第一回茨城アストロプラネッツ杯野球選手権大会及び親睦会とトライアウト

- ・開催日：2022年12月9日（金）～11日（日） 於：シリキット記念球場
- ・主催：Thai Baseball Association of Thailand.
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力、中古野球用具の収集支援

→異議なく承認された。

対象事業名：WAOJE Global Venture Forum 2023 in BANGKOK

- ・開催日：2023年2月10日（金）・11日（土） 於：Queen Sirikit National Convention Centre
- ・主催：General Incorporated Association WAOJE
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→異議なく承認された。

4. (情報共有) チャリティーバザー報告 (チャリティーバザー実行委員会)

・各方面にご協力頂き、10月30日(日)当日は盛況にて終了した。11月4日現在、現金寄付は企業・団体48社と個人8名より562,910パーツ、ブース出店料として企業3社より8,000パーツ、合計で570,910パーツとなっている。また、商品寄付として企業7社、手作り作品寄付として編み物・手芸同好会、買って応援ブース5団体、当日のお手伝いとして18名の方にご協力をいただいた。(詳細はHP及びクルンテーブル誌へ掲載予定)当日は487名の方にご来場いただいた。

・11月4日現在のバザー収支速報としては、現金寄付570,910B、当日売上102,389.25、買って応援ブース(直接寄付)の売上58,235Bとなっており、支出は86,000B程度になる見込みである。

5. (情報共有) 2022年度チャリティー基金運営委員会 (チャリティー基金運営委員会)

・規定に基づき、堀尾チャリティー基金運営委員長より、福田チャリティーバザー実行委員長・荻原チャリティーバザー実行副委員長・竹井チャリティーバザー実行副委員長に運営委員を委嘱した。一般会員からは、バザー実行委員代表の有志より選出した。

・昨年同様一般公募とし、申請期間は2022年11月14日(月)～2023年1月20日(金)、2023年2月10日(金)に第1回チャリティー基金運営委員会を開催し審議を行う。2月14日(火)の理事会にて、報告・審議、その後、3月～4月にかけて寄付金を贈呈する予定でいる。

6. (情報共有) 2022年度実績見込み (事務局)

・2022年度収支見込を報告した。

・収入については、2,283万B(特別行事を除いた収入では、2,257万B)を見込んでいる。予算(特別行事を除く:2,405万B)に対して93.8%と下回るが、前年実績(特別行事を除く2,123万B)に対して、106.3%と上回る見込みとなった。主な収入科目の見込は下記のとおりである。

個人会費収入 見込873万B 予算938万B(93.1%) 前年実績891万B(98.0%)

賛助会費収入 見込704万B 予算720万B(97.8%) 前年実績704万B(91.6%)

教育部(英検)収入 見込246万B 予算250万B(98.1%) 前年実績84万B(290.0%)

クラブ部(会館施設)収入 見込201万B 予算193万B(104.1%) 前年実績110万B(183.4%)

広告収入 見込86万B 予算144万B(60.3%) 前年実績109万B(79.2%)

・支出については、2,476万B(特別行事を除いた支出では、2,456万B)を見込んでいる。予算(特別行事を除く2,758万B)に対して89.0% 前年実績(特別行事を除く2,284万)に対して、107.5%となった。

・収支としては、-193万Bの赤字となるが、当初予算(-352万B)からは、159万B赤字幅が縮小する見込みである。

・結果として、一般会計の次期繰越金は、3,424万Bとなる見込である。

7. (情報共有) 2023年度予算策定スケジュール (事務局)

・2023年度予算策定スケジュールについて報告した。12月の理事会にて予算方針を発表、12月中旬より各部傘下の団体へ説明を行い、1月初旬に事務局宛てに2023年度予算書を提出。1月下旬に事務局が取りまとめのうえ、各部長へ事務局案を提出するので、各部長にてご検討頂きたい。各部長に検討頂いた予算案を基に、2023年2月下旬に予算審議委員会を開催し、3月の理事会にて予算審議委員会より予算案を提出するので、審議頂きたい。

8. 各部・各委員会報告及び提案等（発表順）

（1）婦人部（竹井理事）

・10月25日（火）に別館にてセミナー『ピンクリボン月間に考えてみませんか？』を開催した。講師はバムルンラード病院のチャナティップ・ヤンウボン医師と志村円看護師。36名（うち未入会者8名）に参加いただいた。参加者36名中33名の方にアンケートを回答いただき、全員が満足と回答いただいた。

・11月22日（火）に別館にて『新年を彩るミニリースのワークショップ』を開催予定。参加費は会員400バーツ、未入会の方600バーツ。申込みは定員の26名に達しており、キャンセル待ちを受け付けている状況である。

・キャンセル待ちが出るような人気イベントは、午前と午後で開催するなど、回数を増やしてはどうか、という提案があった。

（2）厚生部（安江理事）

・10月の出産準備教室&すくすく会は、ボランティア説明会やわんぱく広場等、7イベントを開催。未入会の方にも多く参加いただいている。

・10月のみんなの相談室は、来タイ1年以内の方限定お茶会等、3イベントを開催。未入会の方にも多く参加いただいている。

・すくすく会の活動を周知するため、日本人会のFacebookやフリー誌広告を活用してはどうか、という提案があった。

（3）在タイ日本国大使館（新保領事部長）

・最近の犯罪被害について、立て続けに3件報告があった。いずれも出張者の盗難被害であった。同じく詐欺も増えている。発信者名に日本本社の電話番号が表示され、流暢な日本語で「機密な外注案件があるので至急〇〇の支店の口座に振り込め」と言われたが、不審に思った担当者が本社へ確認を取ったことで未遂に終わった、ということがあった。こちらの詐欺電話の注意喚起に関して11月1日（火）に大使館より発信したが、その前にも別の企業からも似たような件で相談がきており、未遂に終わっている。

・APECの交通規制に関して、APEC開催の前週にはメールを発信しようと思っている。また、APEC開催期間中に事件が起こらないか心配している。2019年のASEANの外相会談の際に小規模の爆発事件が発生し混乱したことがあった。

・来年の2月に大使館の多目的ホールにてタイ深南部やパキスタン等、テロ被害があった地域に行かざるを得ない方を対象に官民合同テロ・誘拐対策実地訓練を行う。日本の外務省HPにも掲載している。参加者1名あたり30万円程と高額にはなるが、これでも日本の外務省が支援した金額となる。

（4）文化部（吉田理事）

・11月1日（火）～5日（土）にパーソネルコンサルタントギャラリーにて絵画同好会「第54回展示会」を開催した。精力的に活動されているメンバーの皆さんの作品が一堂に会した展示会となった。

・その他、11月の同好会主催イベントとしては、20日（日）にタイを知る会の「サコーンナタシン・タイ伝統操り人形劇団スペシャル公演」、27日（日）にバンコク短歌会「公開吟行会」、30日（水）に編み物・手芸の会無料講習会の3イベントを開催予定。

・ブリッジ同好会は、コロナ禍の影響により活動メンバーが激減し、活動の継続が困難になった為10月末にて廃部となったことを報告した。

(5) 事業部 (神原理事)

・10月20日(木)・21日(金)に納骨堂ご本尊修復調査を実施。調査のため、東京藝術大学大学院美術研究科の岡田靖先生・小島久典先生に日本よりお越しいただいた。調査の結果、何度も大がかりな修復を重ねて現在に至っており、特に脚の部分については、後世に修復されていることが判明した。内部から元禄3年(1630年)天保12年(1841年)の銘が発見されたが、修復年なのか、作成年かは今のところ分かっておらず、仏像の各部位、作成技法について、時代ごとの特徴が分かれている。年代については、木片にて年代測定を実施予定。修復の緊急性は低いが、腰の部分の痛みが大きく、今後のことも考えると修復は必要。1年間かけ、温度湿度を計測し、部材などを検討し、来年の11月に当地での修復を前提として、修復方法について、提案して頂けることになっている。

・12月7日(水)日本人学校・小学6年生の修学旅行では、カンチャナブリ慰霊塔を訪問、献花を予定している。それに伴い、11月23日(水)に日本人学校にて、事前学習として、日高(日高洋行)理事より、慰霊塔についてのお話しをして頂くこととなった。日高理事の祖父、秋雄氏(日本人会元理事)は、戦後カンチャナブリ慰霊塔の整備に尽力された方であるため、今回の事前学習を日高理事にお願いした次第である。

・内堀堂守の10月の活動を報告。納骨堂堂守としての追善供養を3回実施頂いた。その他、写仏会、世界仏教徒会議に臨席するなど活動した。

(6) 会報・広報部 (富永理事)

・無料情報誌については、ダコ、ニコラボ、ワム、パノラの4誌に掲載する広告を紹介した。ニコラボはウェブ広告のみとなっている。

・10月のホームページアクセス状況は、訪問数8,367、閲覧数20,653で、LINE配信した日の閲覧数が高くなった。前年同月比は、訪問数80.4%、閲覧数93.3%、前月比は、訪問数53.9%、閲覧数61.1%であった。前年同月比・前月比ともに減少しているように見えるが、去年はバーチャルラン、先月はLDHとのダンスレッスン企画などのイベントがあったため閲覧数が高かったものと推察される。タイからの訪問数は69.9%、日本からは19.2%。前月と比較し、タイからは37.7%減少、日本からは69.7%減少している。日本からの閲覧は、東京、香川、神奈川、大阪、愛知の順に訪問があった。

・LINEは8回の配信、登録者は前月より51名増加し、6,612名(有効者数4,025名)

・Facebookは35回の投稿、登録者は前月より31名増の3,148名。

・インスタグラムは32回の投稿、登録者は前月より27名増加し、1,419名。

・Twitterは23回投稿し、フォロワーは前月より23名増加の1,140名となっている。

(7) 企画推進部 (富永理事)

11月2日(水)～2月1日(水)の期間(本番日は2月3日、4日、5日のいずれか)で開催する、LDH所属のBALLISTIK BOYZ・PSYCHIC FEVERのEXILE TRIBE 2グループによる小学生を対象としたダンスレッスンは、両クラス合わせて定員40名のところ、87名の方にお申し込みいただき、応募期間終了後の10月12日(水)に事務局にて抽選を行った。11月2日(水)にはPSYCHIC FEVERクラスによるダンスレッスンを開始した。BALLISTIK BOYZクラスは11月9日(水)より開始する。

(8) バンコク日本人学校 (谷口校長)

・新型コロナウイルスは今年度709名が感染し、生徒の約3分の1が感染した状況。

・先日JICAのカワグチ氏に講演いただいた。今週末にもJICAに講演を行っていただく予定。

・11月11日(金)にトヨタ、NEC、JALによる進路啓発講演会を実施予定。

・11月1日(火)・3日(木)に小学部にて運動会を開催した。小学5年生と6年生の創作ダンスはこれまでにない素晴らしい出来であった。残念だったのは保護者を入れることができなかったことと、徒競走がやれなかったこと。来年は保護者も入れ、徒競走も実施し、終日かけて行いたい。

- ・10月17日（月）にサッカーの西野元タイ代表監督の講演会を開催した。
- ・10月26日（水）各社企業にご協力いただき、中学部にて職場体験学習を行った。
- ・先日長崎大学の感染予防関係の有吉紅也先生に学校へお越しいただき、保護者向けと教員向けに感染症のお話をしていただいた。
- ・修学旅行は小学部がカンチャナブリ、中学部はチェンマイを予定している。

（9）JICA（鈴木所長）

- ・11月18日（金）に協力隊員が4名来タイし、19名となる。年明けにまた来るので20名を超える。最終的に40名強まで戻そうと思っている。民間企業の方々のミッションが増えてきている。

（10）JETRO（石川代表）

- ・11月からJETROにて日本産食材を使ったキャンペーンプロモーションを実施している。日本食のレストラン230店舗程に協力いただき、2019年から解禁となった豚肉、それほどまだ知名度が高くないブリやサンマ、北海道や鹿児島島の食材などを扱い、それぞれの店舗で食材を使用したメニューを作って広めていただくというキャンペーンを行っている。目標としてはキャンペーンが終わってもメニューが残っていくことで日本産の輸出が増えていくという取り組みをしたい。

（11）教育部（事務局）

- ・2022年度第2回英検について、11月6日（日）に二次試験を開催したことを報告した。
- ・2022年度第3回英検は、一次試験を2023年1月21日（4・5級）と1月22日（2・準2・3級）に、二次試験を2月19日に開催する。

（12）青少年部（事務局）

- ・10月の活動及び11月の活動予定について報告した。

（13）食堂運営委員会（事務局）

- ・食堂売上10月は、925,910Bであった。タイ人顧客は2,633名、邦人顧客は395名、総顧客数3,028名、会員利用者延べ人数は92名、実数33名であった。

9. 10月度理事会議事録承認

→異議なく承認された

10. 理事会出席者（敬称略、順不同）

島田会長、荻原、日時本、福田各副会長、太田、小田原、米増、神原、吉田、安江、岩本、土田、竹井、富永、堀尾、金子各理事、宮口、井原各監事、新保在タイ日本国大使館領事部長、谷口バンコク日本人学校校長、鈴木 JICA（国際協力機構）所長、栗山国際交流基金所長、石川 JETRO（日本貿易振興機構）代表、事務局（村上・安達・松田）